

※当資料は、DWS グループが 2021 年 8 月 26 日に発表したニュースリリースをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳したものです。



Media Information

フランクフルト

2021 年 8 月 26 日

DWS は訴訟や規制に関する質問にはコメントしませんが、メディアで報道されている ESG 開示に関する根拠のない主張に対処したいと考えています。

DWS は当社の年次報告書の開示内容が適切であると考えています。また当社は、元従業員による申し立て内容を断固として否定します。DWS は、お客様のために運用を行う受託者の役割の一環として、ESG 投資の確固たる推進者であり続けます。

DWS には、サステナブル投資と責任投資における 20 年以上の長い伝統があります。近年においては、ESG 基準を考慮することが資産運用業界全体でビジネスを行う上で必須のライセンスになると考え、ESG を当社の企業戦略の礎と定義し、世界で有数の ESG 資産運用会社となることを目指しています。また、持続可能な未来への道は、業界全体にとっても DWS にとっても長く険しいものであるというメッセージのもと、市場、お客様、ステークホルダーに対して常に透明性の高い企業であるよう努力しています。

私たちは、常に明確な報告を行ってきました。DWS では、アニュアル・レポート 2020(2020 年の年次報告書)で運用資産を公表する際に、「ESG Integrated 運用資産」と「ESG 運用資産」(後者については DWS は「ESG Dedicated」と呼称しました)を区別し、両方の分類を報告しました。アニュアル・レポート 2020 の 90 ページで開示したように、DWS は、アクティブ運用で、かつ、ポートフォリオの 90%以上が ESG データ(ESG の総合評価を表す「シン・レーティング」)のカバレッジ対象で構成されている戦略を「ESG Integrated」と分類しました。「ESG Integrated 運用資産」は、当社の「ESG 運用資産」(すなわち「ESG Dedicated」)には計上されませんでした。具体的な数値については、アニュアル・レポート 2020 の 92 ページおよび 93 ページに透明性のある形で記載されています。

2021 年 7 月に発行された直近の半期報告書では、SFDR の新ガイドライン[※]に基づいて改訂された ESG 運用商品分類アプローチを適用した結果、ESG 運用資産(「ESG Dedicated」)が 701 億ユーロであると報告しました。また、非 ESG 運用商品の中にグリーン認証を受けた低流動性資産が 164 億ユーロ含まれていることも報告しました。

DWS は、世界で有数の ESG 資産運用会社への道を歩み続けます。

※2021 年 6 月 30 日時点での当社の ESG 運用商品分類です。

EU の開示規制である SFDR(Sustainable Finance Disclosure Regulation)は、2021 年 3 月 10 日に発効しました。SFDR は、金融商品や事業体に対する包括的な報告の枠組みを構築するものです。社会的・環境的特性を

促進する運用商品(第8条)や、持続可能な投資を目的とする運用商品(第9条)に特定の開示義務を導入するとともに、他の運用商品との持続可能性リスクの統合に関連した一般的な開示義務を導入しています(第6条)。

当社は、運用商品を SFDR の第 6 条、第 8 条及び第 9 条に対応する形で分類し、第 8 条及び第 9 条に対応する運用商品を全て ESG 運用商品としています。SFDR の対象外であるその他のリテール運用商品(主に米国とアジア太平洋地域で組成されたもの)についても、ESG 運用商品分類フレームワークの目的に沿って同じルールを適用しています。SFDR の適用範囲外の機関投資家向け運用商品については、グローバル・サステナブル・インベストメント・アライアンス(GSIA)の一般産業基準およびガイドラインを適用し、これらの GSIA 基準に準拠したすべての運用マニフェストを ESG 運用として分類しています。

当資料の原文(英語)は以下のリンクをご参照ください。

[DWS statement on current coverage](#)

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとに DWS グループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ(以下DWS)は、約8,590億ユーロ(2021年6月末時点)の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG(環境、社会、企業統治)投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,500人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。